

事業再評価

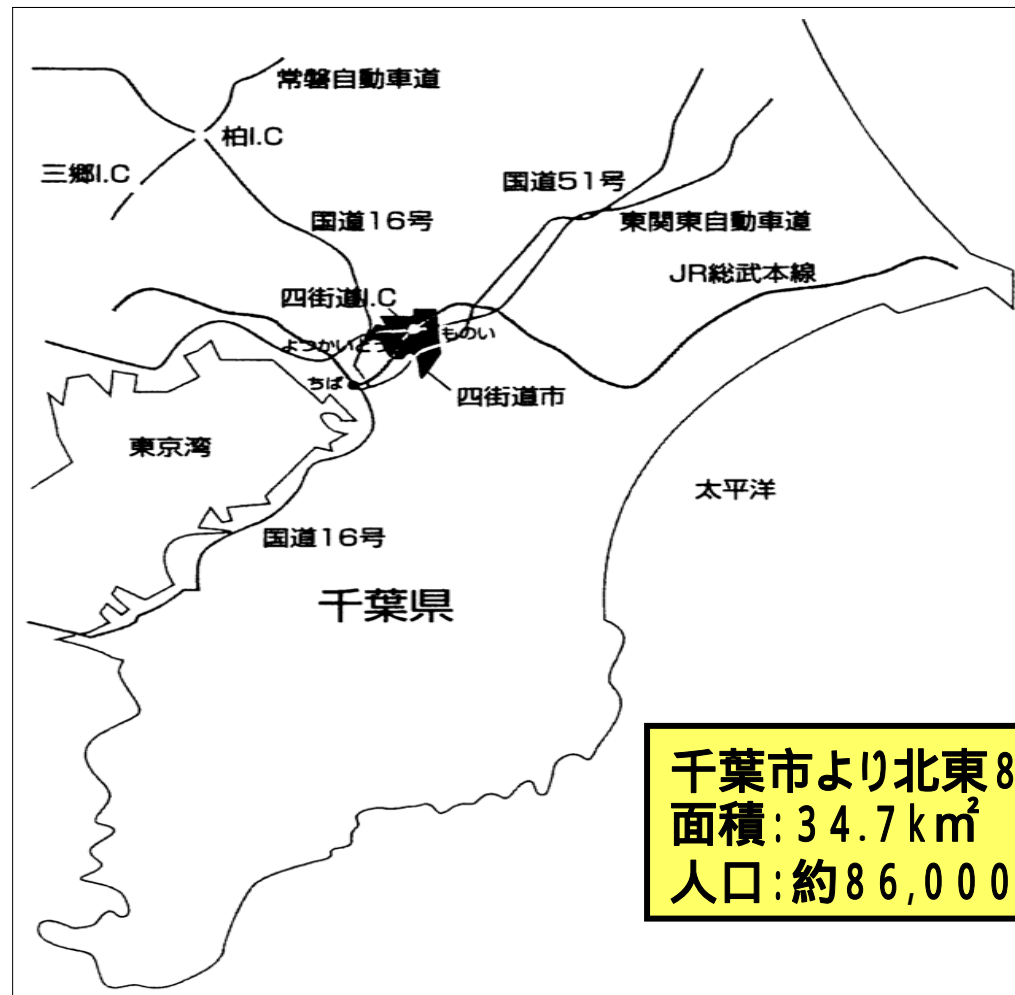
- 住宅市街地盤整備事業(街路事業) -

四街道都市計画道路3・4・20号

物井1号線

四街道市

1 四街道市の位置図



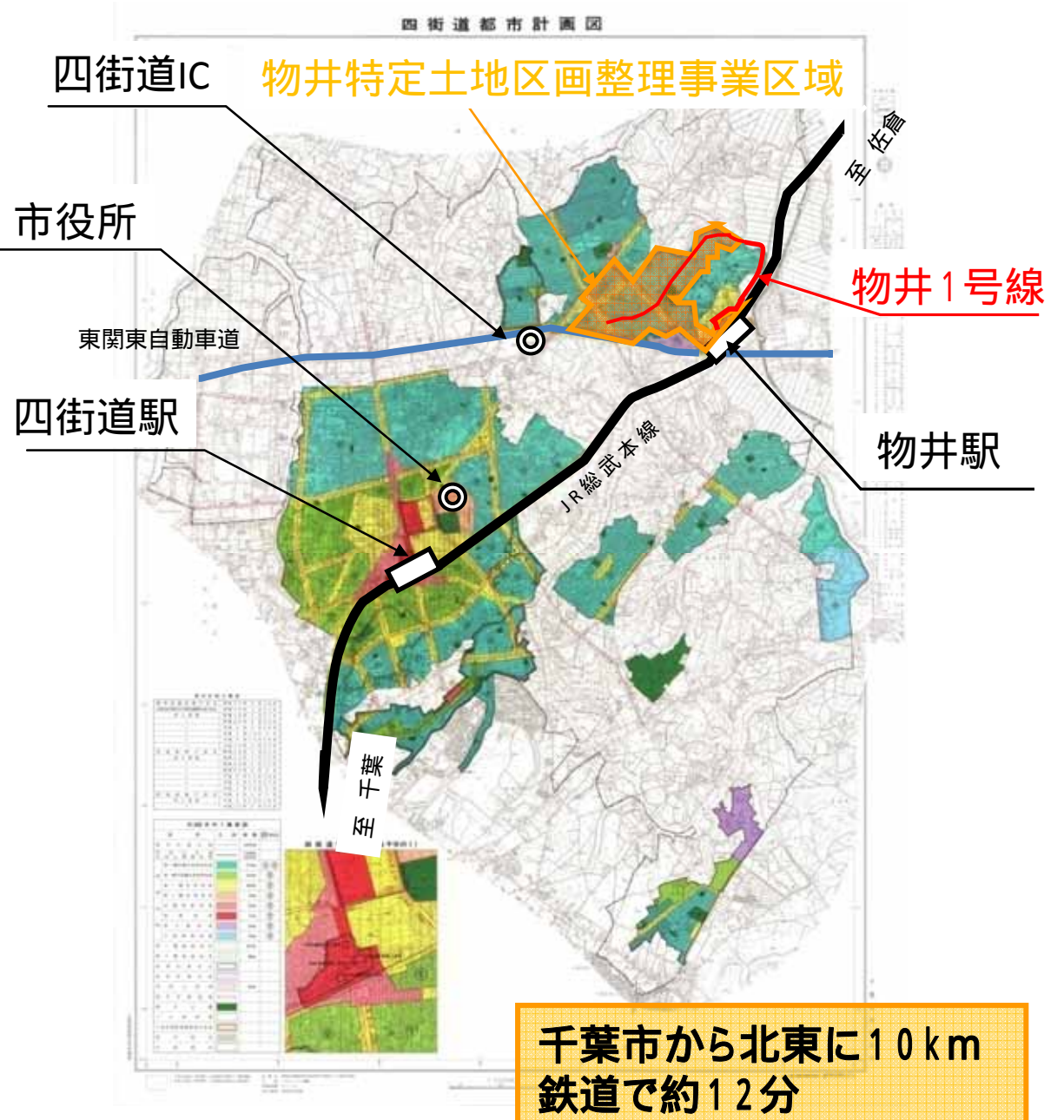
2 事業実施箇所



物井1号線(整備中)



周辺の狭隘道路

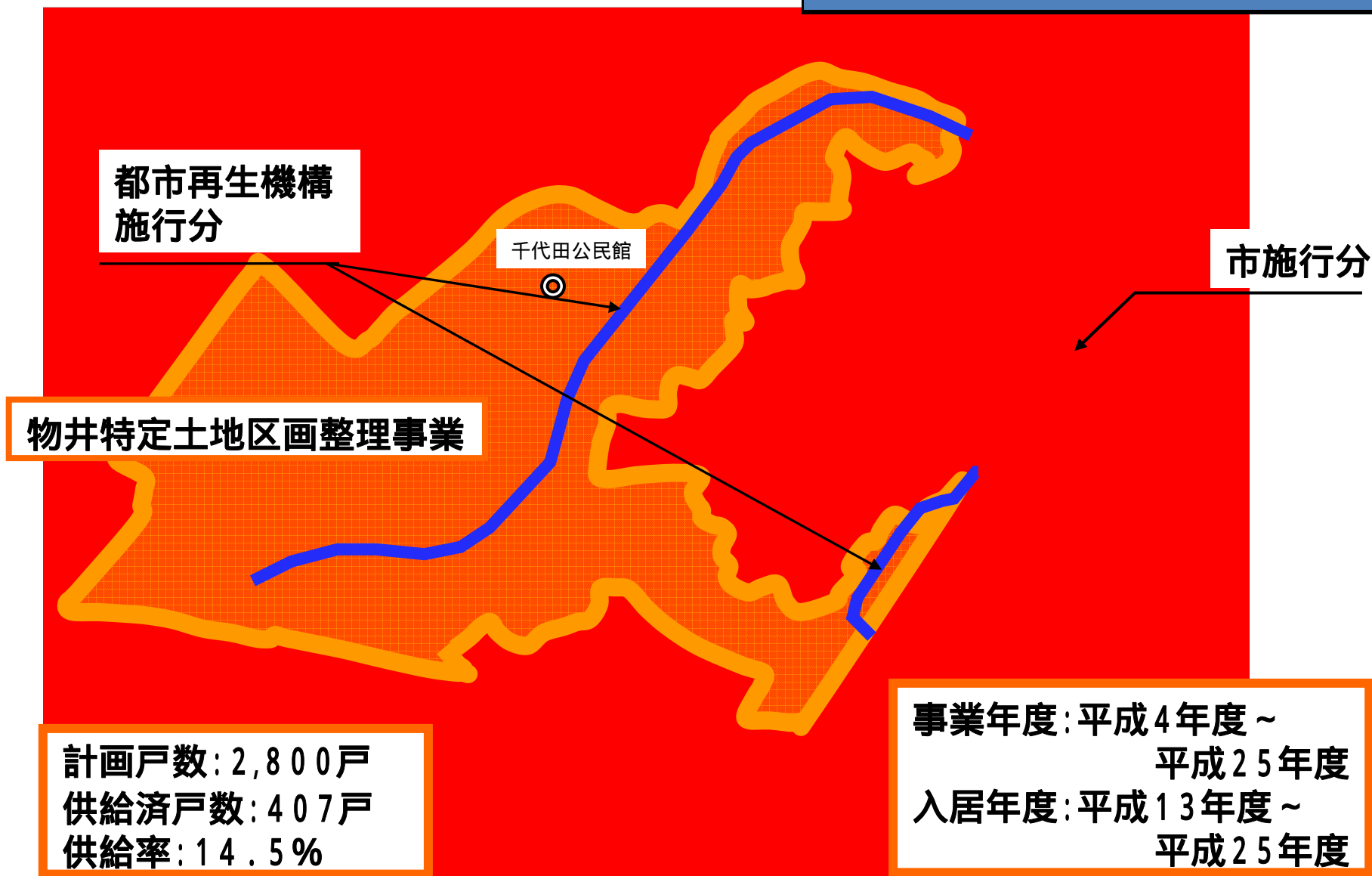


3 - 1 物井1号線の概要

総延長: 2,970 m

市事業区間: 930 m

都市再生機構事業区間: 2,040 m

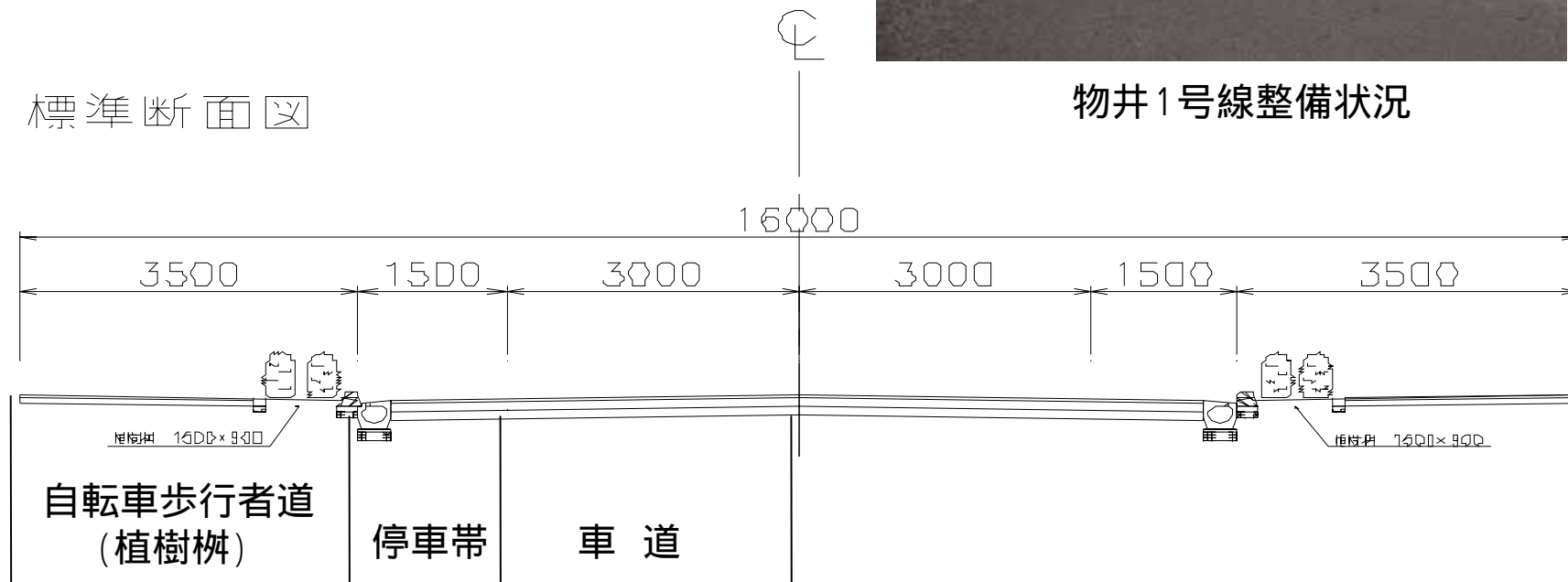


3 - 2 物井1号線の概要

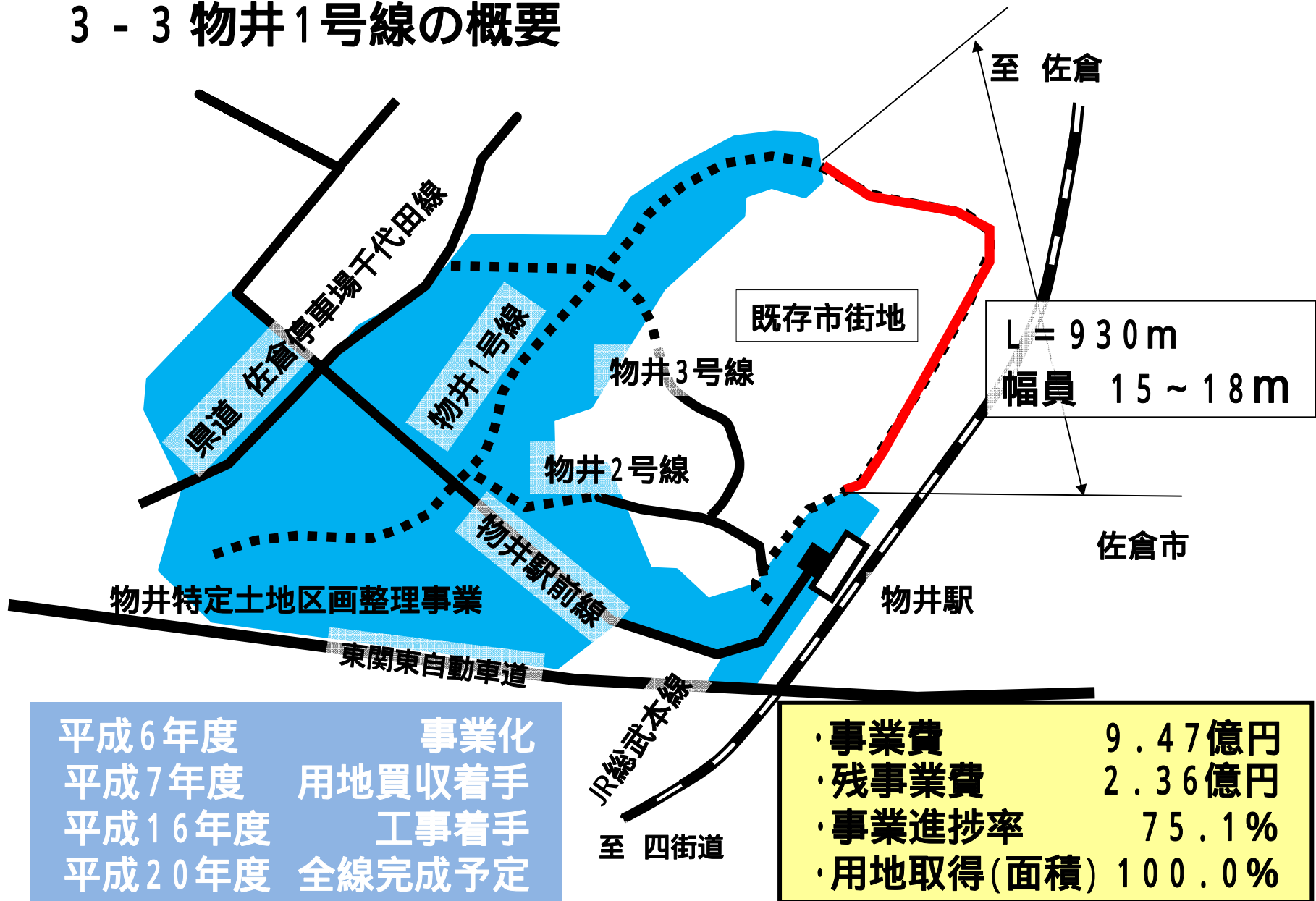
道路規格: 第4種第3級
設計速度: 40 km / h
全体事業費: 947百万円



標準断面図



3 - 3 物井1号線の概要



平成6年度	事業化
平成7年度	用地買収着手
平成16年度	工事着手
平成20年度	全線完成予定

・事業費	9.47億円
・残事業費	2.36億円
・事業進捗率	75.1%
・用地取得(面積)	100.0%

4 長期化の理由と今後の進め方

【長期化の理由】

- ・用地取得の難航により事業期間が長期化。

【今後の進め方】

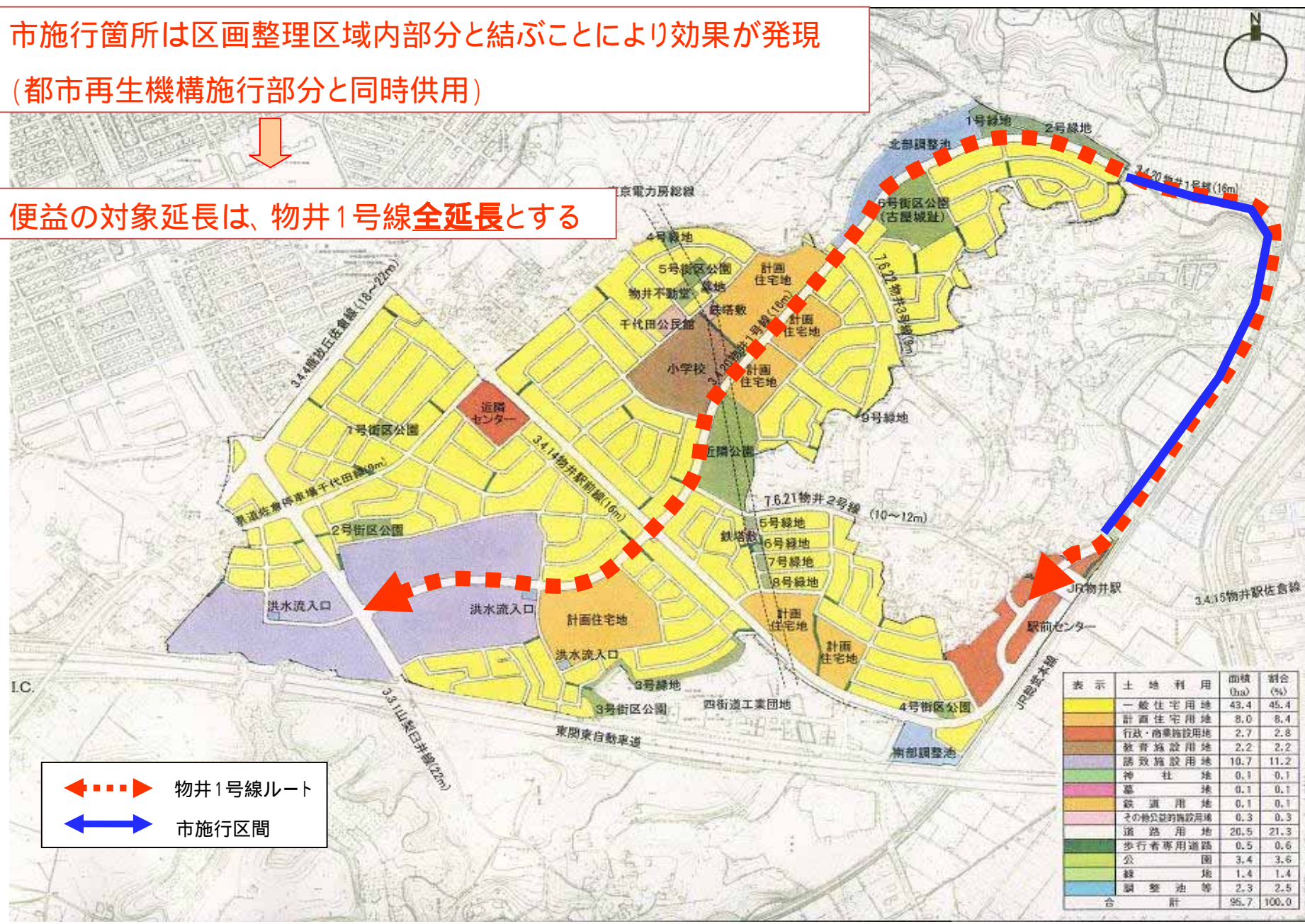
- ・平成20年8月に合意に至り、用地買収完了。
引き続き工事完成を目指す。

5 - 1 便益の考え方 (便益の評価対象路線)

市施行箇所は区画整理区域内部分と結ぶことにより効果が発現
(都市再生機構施行部分と同時供用)



便益の対象延長は、物井1号線**全延長**とする



5 - 2 費用便益

費用便益分析の結果(事業全体)

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成20年度		
単純合計	36.37億円	0.57億円	36.94億円
基準年における 現在価値 (C)	45.20億円	0.28億円	<u>45.48億円</u>

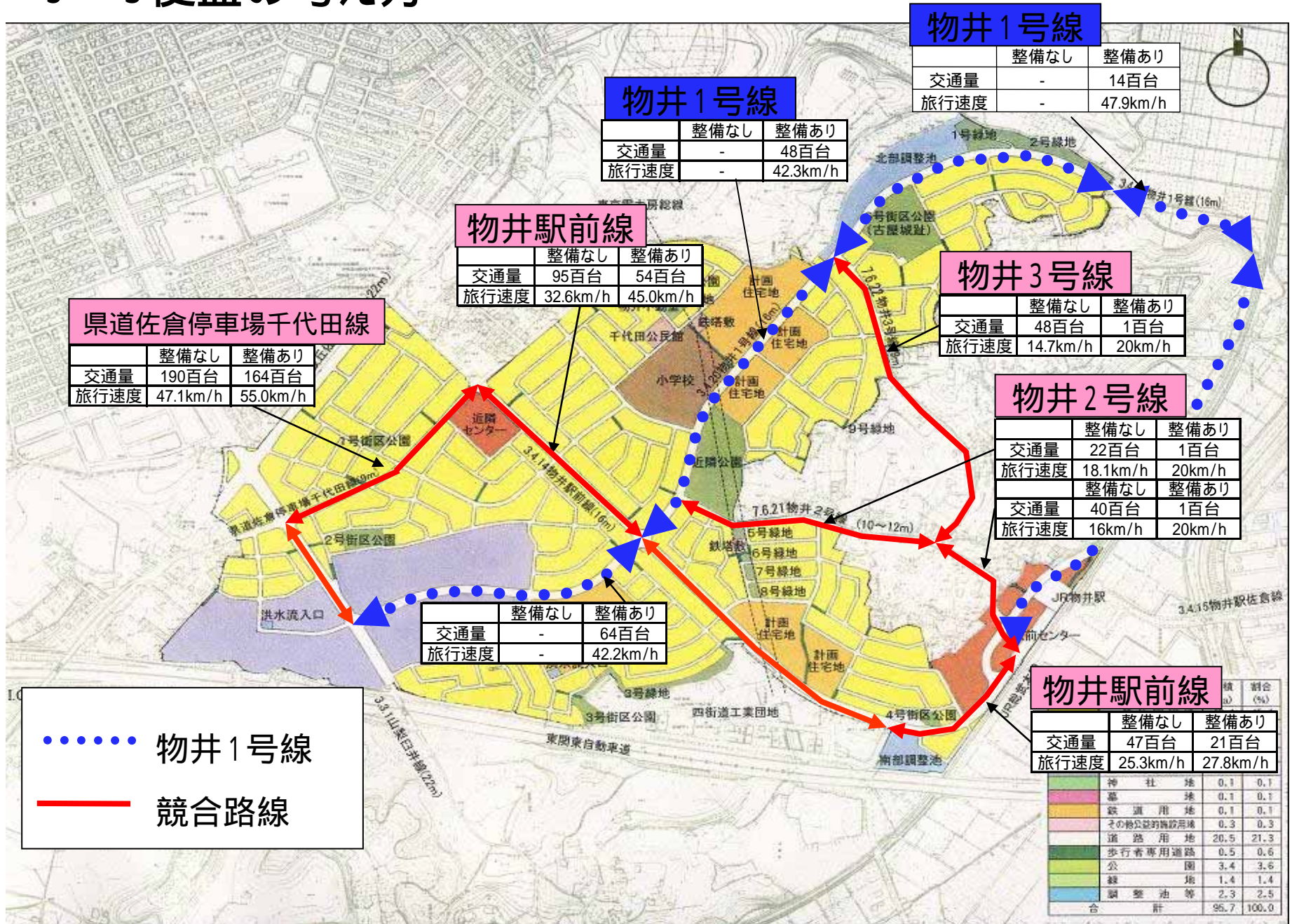
便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成20年度			
供用年	<u>平成21年度</u>			
単年便益 (初年便益)	3.37億円	0.16億円	0.03億円	3.56億円
基準年における 現在価値 (B)	69.13億円	3.28億円	0.58億円	<u>72.99億円</u>

結果

費用便益比	<u>1.60</u>
-------	-------------

5 - 3 便益の考え方



6 - 1 事業の必要性



【事業の必要性】

・ 大幅な利用者の増大となるJR物井駅と区画整理事業区域を結ぶ本路線は必要不可欠な施設である。

・ 全区間供用開始に向けて、区画整理事業と一体整備が必要である。

6 - 2 整備効果

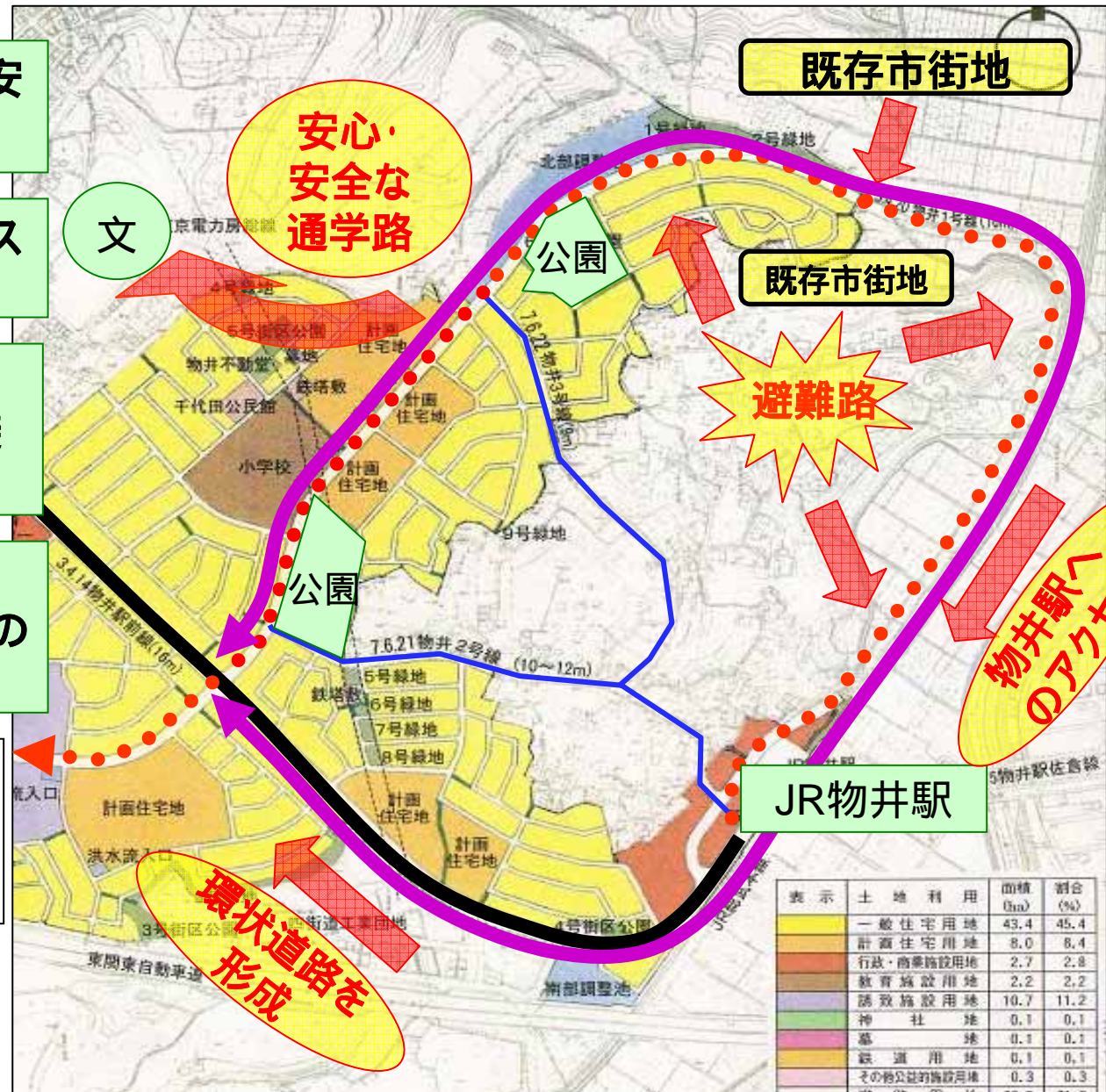
小学校までの安全・安心な通学路として必要

物井駅までのアクセス道路として重要

整備済路線と環状道路を形成することで、避難路の機能を高める。

計画道路を利用した防災空間としての役割の確保

- 計画路線
- 整備済路線



6 - 3 整備効果

周辺の狭隘道路

歩道なし

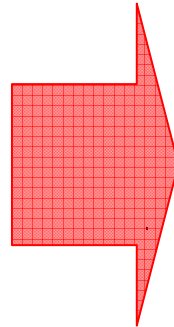


車道幅員 3 m



3 m

歩行者空間の確保



物井1号線(整備中)

歩道幅員 3.5 m (両側)



3.5 m

3.5 m

車道幅員片側 3 m + 停車帯 1.5 m



1.5 m 3 m 3 m 1.5 m

ゆとりある車道空間の確保

物井地区の交通の円滑化及び安全性を高める。

7 対応方針

早期供用開始に向けて、引き続き補助事業として、本事業の**継続**を図りたい。

【理由】

- ・区画整理事業と関連事業であり、全区間平成24年供用開始に向けて、**区画整理事業と一体整備が必要**である。
- ・平成20年8月に用地買収が完了しており、住民より1日も早い**供用開始が望まれている**。